

[illegible]

迅速正確安全の保證——某實業家談

が成立

千人無料授與

て頭取

のハルワイ

の交通

んまのしき

五千圓

り、面して我等同

警察署に届出

山より鎮海灣型

前後にはよく

里

土氣旺盛にして

三

▽一月中は三寒四温が無

仁川其他の

3

以下各下

隣を來さ

此軍

山武次郎、岡村

直ちに取調への上传

現金五十圓を強奪し

張所より審兵出張

.....

を是非にも所望さ

一人の情けを

先生の岩に船跡將

1

100

御成座

探偵大活劇

るに至る松之助得意

山演續物

海十二編四

天下の勇士の勢揃

御來^二賜^一は人^三事^四な^五希^六

卷之四

一、

一ヶ年
生産高、
百萬元
を超す

粉白顔美

美^び
顔^{がん}
白^{おし}
粉^{ろい}
に^に使^{つか}つて
得^えらる

驚いた

某伯爵夫人

「美顔白粉の害い言ふ事は一傳に聞いては居ましたが實はまた使つた事がありませんでした。處が先頭座の最も崇拜してゐるが美顔白粉の唄れてゐる點を立證されたので、從來使つてゐたの舶來白粉を全部して一服試したがつたが、ナルカミで新しい上品な白粉である事が判りました。前は學者が苦心の賜物文に、只生氣な、白い不自然な色につく白粉とさばるが、かつて、眞實な生れつき

適つた白粉

△子爵夫人陸

二體不自然な昔の白粉の缺點を補ひ、搗て、無害無毒を標榜しよう云ふので、最近色々な白粉も發明されましたが、妾の見る處でも座禮式に適つた白粉云ふものは未だ一向に見當りませぬ。

色の白さ

某教育家談

「所謂セツシヨン式な現代の女子教育に苟もな
化粧」云々の名を味して始めて柔和で高潔な理
想的の解が出来る上は、猶々其の趣つてある
處ですが、今度新式初に依つて始めてこれを實
現し得る事が出来ました。由來白粉は白いもの
——白粉を塗りぬれば顔が白くなる——ミ、この
問題は三歳の意見を知つて居りますが、只白く
なるばかりでは美になつたとは言はれません
や身軀の内は自然色調の取れぬ不自然な色に
なるのでなく、生れき色の白い人に見ゆるので
なくは目的は達せられませんが、舊式の白粉は

は嫣然一笑して

妾が日本へ来て第一に感じたのは、優にやさしさ日本婦人のお化粧を今少し進歩させたいといふ事でありましたが、其れには何よりも白粉を改善せねばならぬといふ事を深く感じました折柄、高貴の方々から國產奨励の意味の下に完全な國產白粉を選定せよとの有難き仰せをも蒙りましたので色々尋ねた甲斐あつて彼の學者發見の美顏白粉をば未だ日本人さへ氣の附かぬ間に逸早く手に入れ、上高貴方に奉つたのを始め一般日本婦人に紹介しました結果、今日皆様のお化粧は全く夢のやうに進歩し、實に氣品の高い美しい御婦人を多く見受けるやうになり、妾が日本へ参つたわけでありまず。

此條を讀み終つて居つた。お徳勝のやうに只まづ白く輪船の中からはかりクリ／＼させてゐる、よくく／＼と滑り化粧が多かつたのですが美顔白粉は流石に筆が發明した新化粧料だに如何な服の人が試しても、塗ればスナリと色白くなり、餘程思ひ違つて見ねばお化粧したと思はれる程に追たる暇のない色澤になりましたから、自然體にもなるさ、全く盛にやすなり犯し難い氣配のある美人に見えます。つゞき世間でよく言ふ美顔白粉を塗けた人、舊式の白粉の人とは一目で直ぐ判ると言ふのは此處、私は大正の婦人化粧一殊に硬苦し教育を受けた人が家傳の母に就いて又恥ぢ立つにつれて最も美顔白粉を推して又思ふのです。

此物案案を書して更に女流美顏術の素手マリー
ルウキズ鑑を訪ひました。

梅白

東京 館 天 順 谷 桃 大阪

京城日報

日二 月二 年六 正 大 (頁八て世合と刊)

歐洲大戰と興亞策 (十)

日本帝國の使命と

我が日本帝國の使命は、世界平和の實現に在り。世界平和の實現は、世界各國の協同努力に依る。我が日本帝國は、世界平和の實現に、其の力をつくす。世界平和の實現は、世界各國の協同努力に依る。我が日本帝國は、世界平和の實現に、其の力をつくす。

歐洲戰局

歐洲戰局は、近日ますます激化を來してゐる。ドイツ軍は、フランス國境に侵入し、パリを占領した。フランス軍は、撤退を余儀なくされた。ドイツ軍は、フランス國境に侵入し、パリを占領した。フランス軍は、撤退を余儀なくされた。



冬の午後、石田富雄筆。雪が降り、静かな風景が広がっている。遠くには山が見え、近处には木々が雪に覆われている。

大正の青年と帝國の前途を讀む

大正の青年は、帝國の前途を讀む。大正の青年は、帝國の前途を讀む。大正の青年は、帝國の前途を讀む。

地質調査

地質調査は、國家の発展に重要な役割を果たす。地質調査は、國家の発展に重要な役割を果たす。地質調査は、國家の発展に重要な役割を果たす。

大英國地質調査所

大英國地質調査所は、地質調査の分野で重要な役割を果たす。大英國地質調査所は、地質調査の分野で重要な役割を果たす。大英國地質調査所は、地質調査の分野で重要な役割を果たす。

仁丹

仁丹を召上れ

消化、止瀉、解毒、救急

小兒科

村上病院

院長 村上 龍藏

生活

生活の経済的勢力

獨逸の経済的勢力

獨逸の経済的勢力は、世界に大きな影響を及ぼしている。

仁丹

仁丹を召上れ

消化、止瀉、解毒、救急

小兒科

村上病院

院長 村上 龍藏

生活

生活の経済的勢力

獨逸の経済的勢力

獨逸の経済的勢力は、世界に大きな影響を及ぼしている。

生徒募集

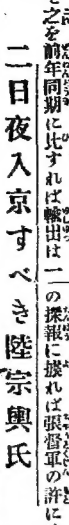
本校は、生徒募集を行っています。

北京歸客談

知らざるも聞く處によれば現政府議員の軋轢は民國政府建設以來の

三十日大連より門司入港の消息

余尙站まらず互に權謀術



ト際限の方法にして増資の理由は茲に午宴會を催よされ近く歸東す可

を正し終りに本年諸物價の騰貴は一画

募集する由にて希望者は民籍臈本

用や過ぎて必勝の旗高き

二歳可^ふにして禁錮^{きんこ}氏の死去^{しき}せら

1

▲政府議員 予は修業中の
身なりしを以て政治上に
の観望し中にしては政
治上の如き減を減

遊んでる人は一人も無い 南洋の新占領地

余は斯くの如く統治に苦心したり
南洋新占領地 領土開拓の苦心
南洋新占領地 領土開拓の苦心
南洋新占領地 領土開拓の苦心



黄金の雨でも
黄金の雨でも
黄金の雨でも

▲自動車馬車 人海軍大に
▲自動車馬車 人海軍大に
▲自動車馬車 人海軍大に

▲三十餘名の 盛衰であつた
▲三十餘名の 盛衰であつた
▲三十餘名の 盛衰であつた

▲日章旗を後楯に
▲日章旗を後楯に
▲日章旗を後楯に

▲列車立往生
▲列車立往生
▲列車立往生

▲佛敎大學火災
▲佛敎大學火災
▲佛敎大學火災



▲氣早の連中 長刀の柄に
▲氣早の連中 長刀の柄に
▲氣早の連中 長刀の柄に

▲失物生活 此の
▲失物生活 此の
▲失物生活 此の

▲スウ云ふ無類 奇妙なる
▲スウ云ふ無類 奇妙なる
▲スウ云ふ無類 奇妙なる

▲大なる石が雨の 降る
▲大なる石が雨の 降る
▲大なる石が雨の 降る

▲片づきしから 離れ
▲片づきしから 離れ
▲片づきしから 離れ

▲一東焼失 焼失
▲一東焼失 焼失
▲一東焼失 焼失

▲高知縣人會 在東京
▲高知縣人會 在東京
▲高知縣人會 在東京

▲新駒返り 初日
▲新駒返り 初日
▲新駒返り 初日

▲小兒科衛生科 龍山
▲小兒科衛生科 龍山
▲小兒科衛生科 龍山

▲物讀の婦主 成功の
▲物讀の婦主 成功の
▲物讀の婦主 成功の

▲幸福を求むる 道
▲幸福を求むる 道
▲幸福を求むる 道

▲西洋結婚と缺點
▲西洋結婚と缺點
▲西洋結婚と缺點

▲私談の手柄話
▲私談の手柄話
▲私談の手柄話

▲肺病の徴候と手當
▲肺病の徴候と手當
▲肺病の徴候と手當

▲労働は幸福の母
▲労働は幸福の母
▲労働は幸福の母

▲家邊物語
▲家邊物語
▲家邊物語

▲成功の父の苦心談
▲成功の父の苦心談
▲成功の父の苦心談

▲数寄の運命物語
▲数寄の運命物語
▲数寄の運命物語

▲姫山の傳説島物語
▲姫山の傳説島物語
▲姫山の傳説島物語

▲強盗を改心する物語
▲強盗を改心する物語
▲強盗を改心する物語

▲調味料の注意
▲調味料の注意
▲調味料の注意

▲客に出る物語
▲客に出る物語
▲客に出る物語

▲家庭の物語
▲家庭の物語
▲家庭の物語

▲客に出る物語
▲客に出る物語
▲客に出る物語

▲家庭の物語
▲家庭の物語
▲家庭の物語

▲客に出る物語
▲客に出る物語
▲客に出る物語

▲家庭の物語
▲家庭の物語
▲家庭の物語

▲客に出る物語
▲客に出る物語
▲客に出る物語

▲家庭の物語
▲家庭の物語
▲家庭の物語

▲客に出る物語
▲客に出る物語
▲客に出る物語

▲家庭の物語
▲家庭の物語
▲家庭の物語

▲客に出る物語
▲客に出る物語
▲客に出る物語

▲家庭の物語
▲家庭の物語
▲家庭の物語

▲客に出る物語
▲客に出る物語
▲客に出る物語

▲家庭の物語
▲家庭の物語
▲家庭の物語

▲客に出る物語
▲客に出る物語
▲客に出る物語

